



2630 Nakatsugawa Center Rotary Club

サブテーマ：【相手のこころを理解しよう】



2009-2010年度 国際ローターのテーマ
本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 Rソング斉唱
- 3 ゲスト・ビジターの紹介
- 4 会長の時間
- 5 食事と交換
- 6 出席者・スマイルボックスの発表
- 7 委員会・幹事報告
- 8 卓話・市立図書館長
- 9 閉会点鐘

今後のプログラム

- 5月3日 法定休日
- 5月10日 卓話・市立図書館長
- 5月17日 会員健康診断 城山病院 (職業奉仕委員会)
- 5月24日 卓話 米山就学委員会 理事会
- 5月31日 卓話 中津川市水野副市長 (22年度予算について)
- 6月7日 健康診断結果報告(赤座先生)
- 6月14日 植樹例会
- 6月21日 四大奉仕委員会(各委員長)
- 6月28日 会長・副会長・幹事退任挨拶

前回の出席率

4月19日 63.83%(34/47)
 会員総数 50名
 出席免除者 4名
 4月12日補正出席率 87.23%

メーキャップ

板頭鈔三君(瑞浪)
 丸山充信君、郷原基幸君
 (中津川)

<四つのテスト>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

会長の時間

テーマ 日本^の当たり前

先日、ちょっと気になる記事を見つけた。日本の【当たり前】が世界で売れる、と題して、加賀屋流おもてなしを台湾に丸ごと持込む。

能登の老舗旅館加賀屋が、今年11月に台湾の北投温泉に加賀屋北投をオープンするらしい。加賀屋では15年ほど前から台湾人の集客に力を入れており、今では毎年一万人前後の宿泊客が訪れているらしい。加賀屋の魅力は何と言っても、おもてなし、旅館はホテルと違って宿泊客との接点が多く、加賀屋はそこに付加価値をつけているらしい。

おもてなしの実践には【付かず離れず距離感から、お客さんニーズを感じ取る感性が必要】と書かれている。まさしく同感だし、全ての商法に匹敵するし、そうでないといけない。おもてなしとは【スタッフ全員が擬似、家族に成りあうんの呼吸で行動できるか】これが加賀屋のおもてなしらしい。台湾に店を出し現地スタッフも採用して、果たしておもてなしの心は民族の壁を越えて、擬似、家族が出来るかが事業成功の鍵らしい。世界の民族は、日本文化・歴史、全てのものに非常に興味を抱いているし、ファッションも日本を重要視しているらしい。



幹事報告

【4月度 ローター雑誌月間】

理事会審議事項

- 1 5月、6月度例会プログラムについて
左記、今後のプログラムにて 承認
- 2 出席免除申請について
武田満弘君より申請あり 承認
- 3 中津川RC・中津川センターRC合同例会決算報告について
別紙決算報告書による 承認
- 4 会員健康診断について
5月17日 PM12:00～城山病院にて実施(職業奉仕委員会担当) 承認
- 5 植樹例会について
6月14日例年の通り実施。詳細は近日の例会にて発表(新世代委員会、環境保全委員会担当) 承認
- 6 その他
岐阜国体への資金カンパについて
例会場にミニモ募金の箱を設置し会員に協力頂く。管理は事務局責任者丸山PP 承認

地区協議会出席報告 米山奨学委員会委員長予定者鈴木捷也君

第2630地区 米山奨学金の現状を報告
中津川センターロータークラブの現状は、2630地区80クラブ全体では上位の位置にある。
又、各クラブの上位から発表、中津川センターRCの現状を説明。
その他、詳細は次回の卓話時に……



地区協議会出席報告 社会奉仕委員会委員長予定者原 恵雄君

世界社会奉仕(WCS)分科会
委員長挨拶、辻原委員長 世界が相手なので敷居が高い。WCS補助金60～70万円

4月度会場設営	10年4月26日No1611	例会場：中津川商工会議所3階
新世代委員会	No32	例会日：月曜日 12:30～13:30
出席委員会・会計監査	発行責任者	事務局：中津川商工会議所3階
クラブ会報委員会	会長 板頭鈔三	TEL：0573-66-7301
5月度会場設営	副会長 梅田英樹	FAX：0573-65-6960
R情報委員会・SAA	幹事 村上幸博	携帯 090-1478-8304
会員増強委員会	会報正 瀧瀬 均	E-mail：info@2630ncrotary.org
環境保全委員会	会報副 小栗正義	URL-http://www.2630ncrotary.org

1 タイ王国の子供達に中古自転車を贈る事業(鈴鹿西RC)

1986年にタイ国ルンピニRCと姉妹提携をしてからの継続事業。目的は識字率の向上・環境開発・再資源活用。当初は資金を集めて中古自転車を購入しようとした。奉仕の真の理想から外れるのではないかと、会員自らの手で自転車を集めよう、また修理しようとなった。ルンピニRCから子供に貸付、不要になったら別の子供に貸付ける。国外持出しの為、盗難自転車では無いという確約が必要。船積み前の港での保管料が多額なので効率よく行なうこと。



2 チベットアムド地方遊牧民小学校への教育物資支援(伊勢中央RC)

バイマー・ヤンジンという女性のトークコンサートに共鳴した。曰く「日本は教育も高いパラダイスだ」と思って来日した。「お父さんお母さんに感謝していますか？」と聞くと、「してない」とか「別に」という返事の子供が多いのがびっくりした。パラダイスだと思った日本は、心が荒んでいるように感じたそうだ。彼女は、講演の収益を学校建設に寄付している。その彼女を支援していく事業を始める。

3 ネパール教育支援事業(岐阜西RC)

50周年事業として、ネパール・カトマンズ郊外のミランダルマスタリ小学校に図書・教育資料を寄贈してからの継続事業。NPOミランクラブジャパン・ミランクラブネパールの協力を得る。韓国・天安RC、台湾・新きょうRCとの共同事業。

4 カンボジア・アンムントレイ小学校への楽器・学用品の寄付(岐阜加納RC)

平成9年に20周年事業として、校舎一棟・ブランコ・鉄棒を寄贈。JHPカンボジアの子供に学校をつくる会の活動を支援。その後、電卓・学用品セット・校舎の増築などを行なった。今回、日・メコン経済文化交流の中で、楽器・学用品の寄贈を行なった。日本の奨学生よりも目がかがやいているのが印象的であったとのこと。

5 貧困救済スリランカ国支援活動(中津川RC)

最初は、2001年に多治見消防署本部から、2台の中古消防車を譲り受け、多治見RCと共同でスリランカ・コロナワRCへ寄贈。その後、毎年のように瑞浪・加茂・笹原・中津川などの消防署から譲り受けた救急車を贈呈。更に継続しながら2004年には車椅子300台、2005年には七宝町からの29人乗りマイクロバス、も寄贈した。今までに救急車17台、車椅子400台などを寄贈し、送料に300万円を費やした。

小野カウンセラー 講演 2580地区とカンボジアの地雷除去の活動で、250万個のほとんどを撤去。車椅子5台輸送したが費用大、その後、現地にて50台調達し寄贈。辻原委員長まとめ、各活動にNICOという団体が信頼できる。RCのホームページで検索も良いのでは

地区協議会出席報告 国際奉仕委員会委員長予定者垂見孝也君

私は国際委員会の分科会に出席させて頂きました。国際と言っても国際青少年交換委員会という名称です。国際青少年を交換する事業です。ロータリーとして交換事業が必要かが議題でした。来日した外国人の受入学生、海外へ派遣し帰国した日本人の学生、これから派遣する学生の話は聞きました。外人の受入学生の話として、日本の文化を知りたい、日本の古い文化、又、その古い歴史が残っている文化が好きだ。言葉を理解することができた、友達もでき良い経験ができた、などの話がありました。

帰国した学生の話として、色々な国との人の交流ができた、自分が成長できた、本当に幸せだった、日本が好きになった、などなど...

これから派遣される学生の話として、語学を学びたい、国の行政を学びたい、日本を変えていく手伝いがしたい、日本の文化を紹介できるよう日本をもっと勉強します。などの話を聞きました。各学生は自分の意見、考えがあり話すことや、考えることがしっかりしておりました。

将来の日本にとって、諸外国との繋がりにとってとても大切な事の一つになると思いました。

以上、青少年交換事業は、ロータリーにとって、すべき事業であると感じました。機会があれば当クラブでも実行出来ればと思います。



板頭会長に感謝状の贈呈と、請求書を渡す。35周年実行委員長鈴木捷也、記念事業委員長垂見孝也
二百日間の禁煙スマイルでRCに多大な貢献実施。ところが、四月十六日に幸協会員から一本失敬して**ぼかーと吸っちゃいました**。(証人は武田、中谷、鈴木会員) 予てからの約束でスマイル207日分を申告して頂きます。禁煙違約金は54万円です。一括現金か、毎週のスマイルにて分納を認めます。



Smile Box

- ・ 本日は、いよいよ次年度に向けての始動です。地区協御苦勞様でした。 会長板頭鈔三、幹事村上幸博
- ・ 昨日の地区協議会、ご出席の皆様には大変ご苦勞様でした。 会長エレクト勝野正彦、副幹事南 裕之
- ・ 昨日、4月18日南林寺の観音様のお祭り「三堂まつり」を取り行いました。おかげで晴天に恵まれて無事、終了致しました。御協力を頂いたクラブの皆さんに心から感謝を申し上げます。 磯村邦彦
- ・ 岐阜県重要無形民俗文化財「杵振り踊」の安弘見神社の例大祭が好天にめぐまれ盛大に開催出来ました。 岐阜県神社庁中津川支部 副支部長可児豊司
- ・ あれいらい、6キロ増量と成りベルトの上付近に全て集中、片足立ちで靴下も履けない。こんな状態が本当に健康に良いでしょうか。赤座先生教えてたもれ 会長板頭鈔三
- ・ 板頭会長、喫煙おめでとうございます。約200日間の苦闘お疲れ様でした。貴方の勇気ある撤退を称賛しスマイルボックスします。また、創立35周年事業に多大なる貢献をされましたことに感謝します。本日のみ喫煙特別記念として喫煙例会を許可願いたいと思います。 鈴木捷也、垂見孝也、喫煙証人中谷武雄